

尿酸

尿酸は、核酸の構成成分の一つであるプリン体の最終代謝産物で腎糸球体から濾過された後、尿細管で再吸収されます。尿酸の過剰な状態では血液中に溶けきれない尿酸が身体のさまざまな場所で尿酸ナトリウム結晶として蓄積し、関節に沈着することで特異的な痛風関節炎を発症します。

高尿酸血症の定義（日本痛風・核酸代謝学会）

性別・年齢を問わず、血漿中の尿酸溶解濃度である7.0mg/dlを正常上限として、これを超えるものを高尿酸血症と定義します。

高尿酸血症の原因

- ・尿酸排泄低下型 遺伝や肥満が関与しているといわれ、腎不全などで腎機能障害がある場合も尿酸排泄が低下します。全体の約6割がこのタイプです。
- ・尿酸産生過剰型 プリン体を多く含む食品の過剰摂取や激しい運動により細胞が破壊され合成されるプリン体が増加することが原因といわれ、白血病や炎症性疾患でも体内で合成されるプリン体が増加します。全体の約1割がこのタイプです。
- ・混合型 全体の約3割がこのタイプです。

高値を示す場合

痛風、腎機能障害、動脈硬化症、尿路結石

測定法・原理

ウリカーゼPOD法

基準値

男性 3.7～7.8 mg/dl

女性 2.6～5.5 mg/dl